

総務・民生教育・産業建設の各分科会は2月17日から同月28日までの期間で内部審査と現場確認を実施しました。

分科会審査の中で各分科会から出た意見・要望等をピックアップして紹介します。

財務常任委員会予算審査  
3分科会  
Pick Up

## 復興政策部復興政策課

### 震災復興メモリアルパーク周辺整備事業

市民から、寄贈された野蒜石の石蔵を保存、伝承するとして、6月から着手夏休み前完了を見込み、1千万円を計上した。

審査において、早期の集客に疑問、整備費用が多額である周辺道路事業が未整備であるとともに、奥松島運動公園災害復旧事業や他の震災メモリアルパーク事業との一体的整備と連携をとるべきとの意見が、多数を占めた。

市民要望の石蔵保存は、認めるが整備時期については、再考を要するとした。



▲野蒜石の石蔵の現場調査の様子（場所は震災復興メモリアルパークの西側）

## 建設部下水道課

### 地方公営企業法適用化事業

平成32年度に向けて、財政負担にならないように注視し、より良い方策を考えるべきである。

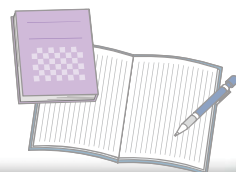
また、下水道料金改定の背景には過去の累積滞納に加え、平成32年度の公営企業移行への準備要素もあると思われる。

全部あるいは財務諸表による移行しても将来の財政負担にならない様な方策を模索すべきである。

## 教育委員会学校教育課

### 学力向上推進事業

市民から、寄贈された野蒜石の石蔵を保存、伝承 学力向上に向けての努力は認めるところである。更なる飛躍を目指して、予算の増大等を含め、あらゆる方策を模索すべきである。



## 市民生活部市民課

### 国民健康保険特別会計

平成30年度からの広域化に向け、財政調整基金の適正額や一般会計への繰り戻し等、市民の不利益にならないように、庁内での議論を深め、早めに方向性を定めるべきである。

## 移転対策部用地対策課

### 防災集団移転元地管理事業

元地の維持管理については、極力経費がかからないように積極的に有効活用を図るべきである。



▲KDDI エボルバに貸し付ける移転元地調査の様子（場所は野蒜字西余景）